

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(介保) 住宅改修支援事業		会計区分	5	介護保険特別会計			所管部署	長寿介護課		
事業番号	8130-1		予算科目	3 款 3 項 4 目			シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)		事業区分	政策的事業【義務】			所属長名	野間	野間	福積	
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造	基本施策	健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践			担当責任者	山本	山本	山本	
根拠法令等	介護保険法、伊予市介護保険住宅改修支援事業実施要綱										
関係する計画等	高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画										
事業の目的【ゴール】 目指すべき姿を簡潔に	対象	住宅改修を希望する要介護（支援）被保険者で、居宅介護（介護予防）支援を受けていない者に対し、当該者の住宅改修費の支給申請に係る必要な書類を作成した者									
	意図	介護支援専門員等が行う業務のうち、介護報酬で対応することのできない住宅改修支給申請に係る理由書作成業務について、居宅介護支援事業所等に対して支援費を支給することにより、利用者の円滑なサービス受給を図る。									
事業内容【アクティビティ】 具体的な内容、どのような方法で実施しているのか	住宅改修の理由書を作成した居宅介護支援事業者等に対し、住宅改修支援事業手数料を支払う。										
事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に		<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任		<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう						
	事業開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度 <input type="checkbox"/> 令和 <small>※合併前からの継続事業は平成17年度と入力</small>		事業終了年度(予定)		<input type="checkbox"/> 令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	他サービス利用の有無の確認に時間を要するため、速やかな確認事務に努める必要がある。	介護保険システムを活用し、サービス利用状況の確認を行う。	速やかな確認に努めることができた。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

項目	予算額・執行額及び財源内訳 (千円)				事業費の内訳				摘要 ※代表的なものを簡潔に					
	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	節	細節	事業費 (千円)							
予算	当初予算	30	30	30	30	例年支出のあるもの	役務費	手数料	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	住宅改修支援業務手数料	
	補正予算								8	16	30	30		
	前年度から繰越													
	予備費等													
計	30	30	30	30										
決算	執行額	8	16	30										
	翌年度へ繰越													
財源内訳	国庫支出金													
	県支出金													
	地方債													
	その他													
一般財源	8	16	30	30										
執行率 (%)	26.7%	53.3%	100.0%											
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	26.7%	53.3%	100.0%											
正規職員の人工数	0.13	0.13	0.14											
1人当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895											
※ 執行額+人件費	1,021	1,025	1,135											
							上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの	
							事業費の総計	8	16	30	30			

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
	指標①	申請件数	件	→	4	8	30			
指標②							利用者や家族が制度を十分に理解できるよう、説明方法等を検討する必要がある。			
指標③							居宅介護（介護予防）支援を受けていない方は、市窓口や地域包括支援センターに相談することが想定されるため、制度内容や利用方法について資料等を活用し理解しやすい説明に努める。			
指標④										

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。